

令和4年度 年間授業計画【社会】

教 科 名	社会
学 年 (年間授業時数)	第1学年 (105時間)
使用教科書 (出版社)	「中学生の地理」(帝国書院)、中学社会 歴史 (教育出版)
使用副教材 (出版社)	地理の資料 (新学社)、歴史資料集 (新学社)
教科担当者氏名	新妻 亮

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

(1)地理的分野

日本や世界の諸地域に関して、地理的事象、地域的特色を、調査や諸資料から地理に関する情報を効果的に調べてまとめる技能を身につける。また、地理的な課題の解決に向けて公正に選択し・判断する力・思考・判断したことを説明したり、議論する力を養う。

(2)歴史的分野

我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、文化、伝統を、世界の歴史や様々な資料から多面的・多角的に理解させ、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。また、歴史的に見られる課題を把握し、公正に選択し・判断する力、思考・判断したことを説明したり、議論する力を養い、さらに歴史的文化財を尊重する態度や国際協調の精神を養う。

2 観点別学習状況の評価

観 点	評 価 規 準
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3 評価方法(評価場面および評価資料)と評価の観点

3つの観点について、その習得状況をA・B・Cの3段階で評価する。学級や学年の順位で評価するのではなく、教科で設定した目標やねらいを生徒一人ひとりがどこまで達成できているかを評価する。

	観察法	作品法	テスト法	自己・相互評価法
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み方 学習準備物 質問・討論 発表の様子 	<ul style="list-style-type: none"> 授業ノート ワークシート 提出物 レポート(調べ学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ミニテスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価・他者評価
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	思考・判断・表現	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
	知識・技能	知識・技能		

4 年間学習計画

期	月	週	単元・教材名	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	【地理】 1部 世界と日本の地域構成 1章 世界のすがた	◎地球上の大陸と大洋 ◎国名と位置 ◎緯度と経度 ◎地球儀と世界地図	●地球儀や世界地図を活用し、索引の活用、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを学習し、身に付ける。
		2			
		3			
		4			
	5	5	2部 世界のさまざまな地域 1章 人々の生活と環境	◎世界の生活と環境 ◎暑い地域の暮らし ◎乾燥した地域の暮らし ◎温暖な地域の暮らし ◎寒い地域の暮らし ◎高地の暮らし ◎世界各地の衣食住と変化 ◎世界の宗教	●世界各地の人々の生活の様子とその変化について、自然環境や気候などと関連つけて理解する。
		6			
		7			
		8			
	6	9	2章 世界の諸地域 第1節 アジア州	◎自然環境・農業と文化 ◎中国・韓国・東南アジア ◎南アジア・西アジア	●アジア州、ヨーロッパ州の地域を広い視点からとらえ、人々の暮らしとその変化について調べ、地域的特色を理解する。
		10			
		11			
		12			
		13			
	7	14	第2節 ヨーロッパ州	◎自然環境・文化の共通性 ◎EU・工業・農業・課題	
		15			
	8	16	【歴史】 第1章 歴史のとらえ方	◎歴史の流れをとらえる	●小学校で学習した内容を振り返り、歴史上の人物や、時代の分け方・年表の見方を理解する。
17		第2章 原始・古代の日本と世界	◎人類の誕生と四大文明 ◎旧石器時代、縄文時代 ◎弥生時代 ◎古墳時代	●人類の出現から四大文明が生まれるまでの流れを学ぶ。 ●日本人のルーツを探り、日本列島の始まりと、日本における人々の暮らしの様子を想像する。	
9		18	1. 古代文明 2. 日本の成り立ち 3. 律令国家の形成 4. 貴族社会の発展	◎7～8世紀の東アジア ◎飛鳥時代 ◎奈良時代 ◎平安時代	●大陸の国々と交流しながら、日本で国家のしくみが整えられ、天皇・貴族を中心とした政治が展開されていく歴史の流れを理解する。 ●国際的な要素を持った文化から、日本文化の国風化が進んでいくことを理解し関心をもたせる。
		19			
		20			
		21			
22					
10		23			
後期	11	24	【地理】 第3節 アフリカ州	◎自然環境 ◎歴史と文化 ◎アフリカ経済と課題	●アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の地域を広い視点からとらえ、人々の暮らしとその変化について調べ、地域的特色を理解する。
		25			
		26			
	11	27	第4節 北アメリカ州	◎自然環境 ◎移民の歴史と民族構成 ◎農業と工業 ◎大量消費の国	
		28			
		28			
	12	29	第5節 南アメリカ州	◎自然環境 ◎多様な民族と文化 ◎農業と工業 ◎開発と環境保全	
		30			
		31			
	12	32	第6節 オセアニア州	◎自然環境 ◎移民の歴史と多文化社会 ◎地域の結びつき	
		33			
		34			
	1	35	【歴史】 第3章 中世の日本と世界 1. 武家政治の始まり	◎武士のおこり ◎平安時代から鎌倉時代へ ◎武士の政治	●武士のおこりと封建社会のしくみ、元寇が及ぼした影響等を、土地支配の視点を入れて理解する。 ●日本と東アジア（元・明、琉球など）との関わりや、それらの国が日本の政治に及ぼした影響を理解する。 ●武士社会が動揺するのと平行して、都市や農村に自治的なしくみが生まれていくことを理解する。
		36			
37					
2		38	2. 武家政治の変化	◎元寇 ◎鎌倉時代から室町時代へ ◎各国との貿易	
39					
2	40	3. 下剋上の世へ	◎戦国時代へ ◎中世文化		
41					
3	42	【地理】 第1章 身近な地域の調査	◎地形図の読み取り方	●身近な地域における諸事象を取り上げ、自分が生活している土地に対する理解と関心を深める。 ●世界的視野から日本の地形や気候の特色、人々の生活について理解する。	
	43	第2章 日本の地域的特色	◎日本の地形・気候 ◎日本の自然災害		
	44				
	45				
	45				

令和4年度 年間授業計画【社会】

教科名	社会
学年（年間授業時数）	第2学年（105時間）
使用教科書（出版社）	「中学生の地理」（帝国書院）、中学社会 歴史（教育出版）
使用副教材（出版社）	地理の資料（正進社）、歴史資料集（新学社）
教科担当者氏名	前川 智明

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

(1)地理的分野

日本や世界の諸地域に関して、地理的事象、地域的特色を、調査や諸資料から地理に関する情報を効果的に調べてまとめる技能を身につける。また、地理的な課題の解決に向けて公正に選択し・判断する力・思考・判断したことを説明したり、議論する力を養う。

(2)歴史的分野

我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、文化、伝統を、世界の歴史や様々な資料から多面的・多角的に理解させ、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。また、歴史的に見られる課題を把握し、公正に選択し・判断する力、思考・判断したことを説明したり、議論する力を養い、さらに歴史的文化財を尊重する態度や国際協調の精神を養う。

2 観点別学習状況の評価

観 点	評 価 規 準
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3 評価方法(評価場面および評価資料)と評価の観点

3つの観点について、その習得状況をA・B・Cの3段階で評価する。学級や学年の順位で評価するのではなく、教科で設定した目標やねらいを生徒一人ひとりがどこまで達成できているかを評価する。

	観察法	作品法	テスト法	自己・相互評価法
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み方 学習準備物 質問・討論 発表の様子 	<ul style="list-style-type: none"> 授業ノート ワークシート 提出物 レポート（調べ学習） 	<ul style="list-style-type: none"> ミニテスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価・他者評価
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	思考・判断・表現	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
	知識・技能	知識・技能		

4 年間学習計画

期	月	週	単元・教材名	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	【歴史】 4章 近世の日本と世界 2節 天下統一への歩み	◎織田信長の統一事業 ◎豊臣秀吉の天下統一 ◎秀吉の政策 ◎南蛮文化	●天下統一がなされた過程と、その当時の文化を理解する。
		2			
		3			
	5	4	【地理】 第3部 日本の地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	◎地形図の使い方 ◎地形図の読み取り ◎日本の地形 ◎海岸や海洋の特色 ◎日本の気候 ◎日本の自然災害 ◎災害への対応とハザードマップ ◎日本の人口 ◎日本の資源エネルギー ◎日本の農業・林業・漁業 ◎日本の工業とその変化 ◎日本の商業・サービス業 ◎日本の交通網・通信網・区分	●地形図の読み取りに必要な知識を習得する。 ●日本の自然環境や人口、産業には、どのような特色があるのかを理解する。
		5			
		6			
		7			
		8			
		9			
		10			
		11			
	6	9	第3章 日本の諸地域	◎九州地方	●九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのかを理解する。
		10			
		11			
		12			
	7	13	◎中国・四国地方	●中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活にどのような影響を与えているのかを理解する。	
14					
15					
16					
8	17	【歴史】 4章 近世の日本と世界 3節 幕藩体制の確立と鎖国 4. 経済の成長と幕政の改革	◎江戸幕府の成立 ◎江戸幕府の外交と鎖国 ◎江戸時代の暮らし ◎江戸時代の産業・交通 ◎政治改革 ◎町人文化	●江戸幕府の成立と対外関係の変化について理解する。 ●産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについて理解する。 ●貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解する。	
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
後期	11	24	【地理】 第3章 日本の諸地域	◎近畿地方 ◎中部地方 ◎関東地方 ◎東北地方 ◎北海道地方 ◎身近な地域の調査	●近畿地方における自然環境や歴史的環境の保全は、人口の増加や産業の発展の中で、どのように取り組まれてきたのかを理解する。 ●中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備は、どのような影響を与えているのかを理解する。 ●関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのかを理解する。 ●東北地方における人々の生活や文化に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのかを理解する。 ●北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのかを理解する。 ●身近な地域の様子を調べる方法を理解する。
		25			
		26			
		27			
		28			
		29			
	12	30	◎東北地方	◎北海道地方	
		31			
		32			
	1	33	【歴史】 第5章 日本の近代化と国際社会 1. 近代世界の確立と東アジア 2. 開国と幕府政治の終わり 3. 明治維新と立憲国家への歩み	◎絶対王政 ◎ヨーロッパ市民革命 ◎産業革命 ◎欧米列強の成立とアジアの植民地化 ◎ペリー来航と開国 ◎攘夷から倒幕へ ◎江戸幕府の滅亡 ◎明治維新 ◎新しい国際関係の成立 ◎自由民権運動 ◎大日本憲法の成立	●欧米諸国の市民革命、産業革命の特色を押さえ、進んだ資本主義と植民地政策がヨーロッパとアジアの対立に発展していく過程を理解する。 ●世界の動きと関係し、日本国内で様々な意見や行動が生まれ、倒幕につながることを理解する。 ●明治政府の様々な改革を学び、自由民権運動、明治憲法の特色を理解する。
		34			
		35			
		36			
		37			
		38			
39					
40					
2	41	◎攘夷から倒幕へ ◎江戸幕府の滅亡	◎明治維新 ◎新しい国際関係の成立 ◎自由民権運動 ◎大日本憲法の成立		
	42				
	43				
	44				
	45				

令和4年度 年間授業計画

教 科 名	社会
学 年 (年間授業時数)	第3学年 (140時間)
使用教科書 (出版社)	新しい社会「公民」(東京書籍)、中学社会「歴史」(教育出版)
使用副教材 (出版社)	「公民資料集」(新学社)、「歴史資料集」(新学社)
教科担当者氏名	飯嶋 拓海、新妻 亮、前川 智明

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

(2) 歴史的分野

①我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の未来を視野に立てて見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

(3) 公民的分野

人権、民主主義、政治、経済、国際社会に関する理解を深め、諸資料から情報を調べまとめる技能を身につける。また、課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明したり、議論する力を養う。その中で、国民権を担う公民として必要な基礎的教養や世界平和の実現・人類の福祉の増大に向けて、国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。

2 観点別学習状況の評価

観 点	評 価 規 準
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	社会的な事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3 評価方法(評価場面および評価資料)と評価の観点

各教科3つの観点について、その習得状況をA・B・Cの3段階で評価する。学級や学年の順位で評価するのではなく、教科で設定した目標やねらいを生徒一人ひとりがどこまで達成できているかを評価する。

	観 察 法	作 品 法	テ ス ト 法
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み方 ・学習活動 ・発言、質問 ・発表のようす 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・ワークシート ・宿題 ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元小テスト
評 価 の 観 点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に

4 年間学習計画

期	月	週	単元・教材名	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト	単元・教材名	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト				
			歴史的分野			公民的分野						
前 期	4	1	1激動する東アジア と日清・日露戦争	◎日清戦争、日露戦争	●日本が列強国との戦いを通して、どのような条約を結び、関係性を築いたかについて理解する。	消費生活と市場経済	◎消費と流通	●家計や流通の仕組みについて理解する。				
		2										
		3										
		4										
	5	5	3第一次世界大戦と 民族独立の動き	◎近代産業と文化	◎第一次大戦と民族自決	●帝国主義から大戦を通して民族自決の流れを理解する。	生産と労働	◎企業	●生産活動や企業形態を理解する。			
		6										
		7										
	6	9	☆学習のまとめ				☆学習のまとめ					
		10	4大正デモクラシー	◎日本の政党政治と文化	◎日本の敗戦	●日本の民主化と、再建の経緯、冷戦の影響を幅広い視点から考える。	生産と労働	◎労働	●労働の意義と権利、現代の課題を理解する。			
		11										
		12										
	7	14	4第二次世界大戦と 日本の敗戦	◎第二次世界大戦	◎日本の敗戦	●世界恐慌、日中戦争、戦時中の生活を読み取る。	市場経済と金融	◎市場経済と価格	●需要と供給、価格の決定について理解する。			
		15										
	8	16	5現代の日本と社会	◎日本の民主化	◎日本の民主化	●日本の民主化と、再建の経緯、冷戦の影響を幅広い視点から考える。	市場経済と金融	◎市場経済と価格	●貨幣の役割や、金融の仕組み景気の変動について理解する。			
		17										
	9	18	☆学習のまとめ	◎国際関係の変化と冷戦の終結	◎国際関係の変化と冷戦の終結	●日本の民主化と、再建の経緯、冷戦の影響を幅広い視点から考える。	☆学習のまとめ	◎財政、社会保障	●税や社会保障について理解する			
		19										
		20										
		21										
	後 期	10	22	【公民】 国際社会のしくみ	◎国際問題と地球市民 ◎国際社会と世界平和	●国際機関や地域の取り組み、国際問題への解決について理解している。	財政と社会保障	◎財政、社会保障	●税や社会保障について理解する			
23			◎これからの地域社会	◎個人と社会生活	◎人権と日本国憲法	◎人権と共生社会				●戦争を防止し世界平和を確立するために必要なことを考察する。	☆学習のまとめ	◎これからの経済と社会
24												
11		25	人権と日本国憲法 ☆学習のまとめ これからの人権保障	◎人権と日本国憲法	◎人権と共生社会	●民主主義と日本の政治の仕組み、日本国憲法の内容、基本的な人権や新しい人権の内容を理解する。	☆学習のまとめ	◎これからの経済と社会	●税や社会保障について理解する			
		26										
		27										
		28										
12		29	現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治の仕組み	◎現代の民主政治	◎国の政治のしくみ	●国会・内閣・裁判所の役割と三権分立について理解する。	☆学習のまとめ	◎これからの経済と社会	●税や社会保障について理解する			
		30										
		31										
		32										
		33										
1		34	地方自治の仕組み	◎地方の政治と自治	◎地方の政治と自治	●地方自治の考え方やしくみ、住民の権利と義務について理解する。	☆学習のまとめ	◎これからの経済と社会	●税や社会保障について理解する			
		35										
2	36	【3年間の総まとめ】 【卒業論文】				☆学習のまとめ						
	37											
	38											
	39											
3	40					☆学習のまとめ						
	41											
	42											
	43											